



◆ご挨拶

多くの高僧によって訳され、長い年月を経て受け継がれてきた経典には、一字一句救いの願いがこめられ「魂」が宿っています。この経を口にし、声として表す時、経文は「言霊(ことだま)」として生まれ変わり、人の心と魂に響きます。同時に自分の魂をもふるい立たせ心身ともに凜とした境地に入れます。これが経文と言霊の共鳴現象による心身浄化を生みます。又、腹から声を出す事によって腹式呼吸が活性化され生理学的にも健康に良い事がわかっています。大自然の凜とした静寂の中で行う読経は心と体を研ぎ澄まさせてくれます。



真言宗白杵山天光寺住職 高尾聖賢

〒190-0214 東京都西多摩郡檜原村字本宿801-2

TEL: 042-598-3133 FAX: 042-598-3177

URL | <http://www.tenkouji.jp/> MAIL | info@tenkouji.jp

発行日 平成 24 年 3 月 3 日 発行人 天光寺 住職 高尾聖賢



山形県湯殿山大日坊第95世貫主遠藤宥覚師語る

◆天光寺住職は真言宗豊山派の僧侶

私は、徳川家祈願寺でもある真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊の代表役員第95世貫主遠藤宥覚と申します。当院は今年で1205年を迎えました。

高尾聖賢住職は、真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊において修行を積み、得度を授け、私の直弟子になり真言宗豊山派管長より度牒を授与され、さらに、越後の真言宗豊山派事相道場で良寛上人の五合庵でも有名な国上山国上寺加行道場で大伝法院流四度加行を満了しました。さらに東京都小金井市の真言宗豊山派金蔵院灌頂道場で大伝法院流傳法灌頂をしております。このような伝統ある道場で修行を積んだ高尾聖賢師は真言宗豊山派の正統な教えを学んだ立派な僧侶であります。

◆天光寺は大日坊山内の寺院

真言宗白杵山天光寺につきましては、真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊貫主の私、遠藤宥覚が天光寺名誉住職に就任しており、また、真言宗白杵山天光寺住職高尾聖賢師の弟子14名に平成23年12月現在真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊において私遠藤宥覚が大阿闍梨戒師得度を授けております。真言宗白杵山天光寺は、真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊山内の寺院であります。真言宗白杵山天光寺住職高尾聖賢は、私の指導のもと仏教(弘法大師)の教えと仏教真理に基づいて仏法の指導をしている正統な寺院であります。

◆天光寺は弘法大師の寺統を受け継いでいる

真言宗の開祖弘法大師の御教えに基づいて、ひたすら人々に仏教の教えを説いて(布教)人々を導いているものであります。それが弘法大師の教えなのであります。高尾聖賢師が導く真言宗白杵山天光寺は、以上由緒ある寺院と同じく弘法大師の寺統を受け継いでいる正当な寺院であります。

高尾聖賢師が導く天光寺は、真言宗豊山派湯殿山総本寺瀧水寺金剛院大日坊の寺統を受け継いでいる寺院であることはもちろんですが、弘法大師様の御教えを熱心に正統に人々に説き導いているのであります。



◆◆◆ 年末年始の護摩炊き

昨年年末には天光寺に多数の信徒が集まりました。福岡から来た人も居ました。信徒は、炎の中で罪を燃やし尽くし、お寺の僧侶の激しい読経の中で新年の決意をして生まれ変わった気持ちで1月1日の早朝に帰られました。



◆◆◆ お百度参り

百度参りの祈願は、お百度石を踏むことにより、心の願いが成就するように願うものです。天光寺では、境内に百度石があり、その石柱まで百回往復しておこなっています。行衣を着て念仏を唱えながら裸足でおこなっています。この行を通して願いが成就するように修行を行なっています。



◆◆◆ 読経

「読経」は経文を見ながら読唱することです。天光寺では、般若心経を読誦します。般若心経は278文字からなり、仏典数万巻の教えを集約したもので、森羅万象全ての真理を説いているものであります。大きな声を出して何回も行なうことにより、心の浄化を得ることが出来ます。



◆◆◆ 仏教講座「般若心経の教え」

観世音菩薩(観音様のこと)すなわち修業時代の釈迦は、仏様の知恵で波羅蜜多行(悟りの境地に達すること)を深く考え、そしてそれを行う時、人も物も形あるものすべてはやがて亡びてなくなることを見極め、すべての苦しみや災難のある此岸から離れて安楽の彼岸へ渡る。舍利子(釈迦の十大弟子のひとり)、この世にあるすべてのものはいつか消滅してしまう。この世にあるすべての物質は、どれも因縁によって原子が集まって分子となり、その分子がとなり、その分子が集まって作られたものである。

さらに強調していえば、色も空も根本は同じものであるということ。物質や肉体だけが色や空になる。

舍利子、私(釈迦)が説いてきた五蘊皆空(人も物も形あるものすべてはやがて亡びてなくなる)などの教えは、皆大自然の姿である。

大自然の生命は生まれもしないし、死にもしない。この宇宙は汚れてもいないし、きれいでもない。大自然の命は増えないし、減りもしない。

したがって、空のなかには色という肉体もないし、受想行識という心もない。目も耳も舌も身も意もなかったとしたら、色も声も香りも味も感触も、心に感じることはない。

眼界も耳界も鼻界も舌界も身界も意識界もなにもない。

無明もなく、また無明がつきるといこともない。さらには老死もなく、また老死がつきるといこともない。

苦しみをなくす。苦しみの原因をつきとめる。苦しみを減ぼして正しい道に行く。智もなくまた得ることもない。

所得なしの心で、悟りをひらいた人は、般若波羅蜜多の修行をすることにより、心にこだわりがなくなり、心にこだわりがないから恐怖心がなくなる。

いっさいの間違った考え方や妄想から遠く離れなさい。そうなれば、ついには悟りの境地に達するのである。

三世の諸仏は般若波羅蜜多行をしたがゆえに、この上もない悟りを得ることができるのである。般若波羅蜜多を知ることによって、この般若心経は神妙な真実の言葉である。

これは明白な言葉であり、最上の言葉であり、これはほかに比較できないような言葉なのです。よく一切の苦しみを除くことは、真実であり偽りではありません。ゆえに般若波羅蜜多の呪文を説くのです。

すなわち呪文を説明するならば、「行こう、行こう、彼岸へ行こう。みんな一緒に彼岸へ行こう。みんなそろって悟りの彼岸へ行き着こう。」

般若心経によって。

天光寺へのアクセス

車の場合

檜原村役場の先のT字路を左折、約3km程、7分程直進後、笹平バス停を左手に白い看板を斜め左方向にのぼり旗に沿って500m直進

電車・バスの場合

JR武蔵五日市駅より数馬行きのバスで約30分、『笹平』で下車、徒歩10分